ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650　　2016.5.31　No. 2418

TAKEFU WEEKLY

Rotary Club of Takefu

Be a gift to the world

2015-2016 RI テーマ
世界への
プレゼントになろう

創　立／1954年（昭和29年）6月30日
事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

例会日／毎週火曜日
会　長／玉村一男
例会場／武生商工会館
幹　事／石本茂雄
会報委員長／宇野賢治

第3003回 例会記録　平成28年5月24日(火)

会員総数 60名

本日出席会員34名
　メークアップ（前々回）　5名
　出席率（前々回補正）76.79％
ロータリーソング「我等の生業」
ゲスト　伊藤洋子氏

会長挨拶　　第62代会長　玉村一男

本日はゲスト卓話として伊藤洋子さんをお招きしています。最新のキューバ事情についてお話して頂くとの事、楽しみです。宜しくお願いします。

5月14日、第3000回例会記念事業として、渡辺哲広社会奉仕委員長のもと「越前市出会い創造事業」と題して「植樹式」と「ECHISPO出会いスポーツゲーム」を行いました。32名のロータリー会員のご参加を頂き有難うございました。当日は大変良いお天気に恵まれ何よりでした。また当日の事業には25～40歳までの33名の男性と27名の女性が参加してくれました。また越前市職員GMTグループ、IJU課、福井銀行IJU課のメンバー25余名がスタッフとして事業を盛上げてくれました。参加された皆さんは楽しい1日だったようで、植樹が終わった後も三々五々、どこかへ遊びに行ったようです。おめでたにつながれば幸いです。出会いの結果はまだ聞いていませんが、この事業が成功裏に終わったのも、渡辺社会奉仕委員長、宮前貴司IAC委員長の入念な企画によるものでした。GMT隊との最初の打ち合わせでは、「これからどうなるんかな」と思いましたが、両委員長が上手くまとめてくれました。改めて御礼申し上げます。

先週の5月21日(土)、会場は福井繊協ビルで、福井南ロータリークラブ主管による、第154回「福井県下ロータリークラブ現新、会長幹事会」が開催されました。内容は各ロータリークラブの本年度の事業の報告会でしたが、この会の進め方について、少し工夫したらどうかとの提案がありました。また奨学金制度（特に反日国からの留学生）について諸論ありますが、各クラブは「ロータリーは国と国の架け橋である」事を十分な説明をして、会員の理解を得るようにして欲しいとの提案もありました。

なお会長幹事会は年3回持ち回りで開催されますが、次回は11月19日武生ロータリークラブが主管で開催します。京藤次年度会長を盛り上げていきましょう。宜しくお願いします。また第2650地区RYLAが5/20(金)～5/22(日)に福井工大金井学園講堂にて開催されました。当クラブからは北陸電力伊吹さんが参加し、来週RYLA報告をして頂く事になっています。

プログラム

ゲスト卓話

「経済危機の国で出会った“もうひとつの豊かさ”
ーキューバ、ベネズエラの旅から」
伊藤洋子 氏

私たちのこの国は戦後1960年代物のない時代に高度経済成長ということでたくさんの物によって計る豊かさを経験している。それはそれでとても楽しい時代を過ごしたと思っています。電化製品の三種の神器（白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫）が入ってくる、さらに3Cという新三種の神器（自動車・クーラー・カラーテレビ）が入ってくる、成長をしていく中でこんな時代になったのだとかなり新鮮な喜びだったと思います。

ふと思うのは、1億総中流意識を9割以上の人が思っていたこの国にまさか貧困問題が社会問題化するなんて思いもしなかった。バブルがはじけてからとても厳しい時代に入ったと思います。いいないいなと思ってやってきた成長と物を持つという生活での豊かさが本当にそれでよいのか？それと同時に何か失っていないかみんなが実感し始めたと思います。それは1990年代に入ってからだと思います。何か私たちの生活の中で豊かさの物差しが違うのではないかと引っかかっていた、2000年代に入り、大学に行くと就職氷河期といった若い人たちの貧困が浮かび上がってきた。今は女性の母子家庭の貧困、子供の貧困、どうしてこんなふうになっちゃったんだろうかと思うのです。そんなふうに思いながら、何か私たちは大きなものを失ってきた。2011年3月11日東日本大震災が起こった時に、湯水のように物を使った生活を今までの暮らしを見直さないとまずいのではないかという大きな警鐘を鳴らされた気がしました。

そういう中で豊かさというのは、経済で計る豊かさもあるけどもう1つあるのだろう、どうもそこらへんを見落としてきたのではないかということを思っていました。村上龍の「希望の国のエクソダス」という小説の中で、1人の中学生が日本に向かって叫ぶ「この国には何でもある、何でもあるけど希望だけがない」と。大きな衝撃を与える小説でした。それから哲学者の内山節さんは、さまざまな不安・不満をかかえている、そういう怯えを抱えた時代というものを分析した本「怯えの時代」を出しました。そういう中に私達がもう1つ失ってきたものの正体が何か見えてきた気がしました。

そんな折にキューバへ行こうと友人に誘われ、3月にキューバ・ベネズエラに行って現地の人とお話をしました。ある人に国交正常化をどう思うかと尋ねたら、経済的にはきっと良い方向にいくかもしれない、しかしアメリカナイズされるとみんな忙しく働くようになる、キューバの良いところは自分で自分の時間をコントロールできることなんだ、時間を自分のものにできるキューバを大事にしたいと言いました。農業の人に話を聞くと100％オーガニックでやっているということでした。

キューバでは、子供たちを14歳になるまでに自分で物事を判断できるように教育します。それが私たち大人たちの責任なんだと言っていました。ベネズエラでは、子供たちは宝です、私たちが責任をもって育てなければならない、のびのびと希望を持って次の世代を担ってゆく人間として育てるのが私たちの責務と言っていました。

平和の小道

この写真に写っているのは平和の小道です。突き当りの絵はピースマークを模したようなマークです。ここで毎年8月6日・9日に平和のためのさまざまなイベントをやっています。広島と長崎に原爆投下された日です。はるか向こうのキューバでもそういうことをしている、頭の下がる思いをしました。もう1つの豊かさというのを申し上げたのは子供たちにこういうことを実体験させる、それから14歳までにちゃんと判断できるように育てるというところに両方の国共大変な経済危機であるのに希望を見出したこういうことに私は豊かさを感じて帰ってきました。

報告事項

幹事報告　石本茂雄幹事

・今年度担当委員会の活動報告書の提出をよろしくお願いいたします。

会員記事　　河嶋一2650地区青少年奉仕委員

青少年奉仕委員会に出向させていただいています。この委員会のメインは新世代のための会議の実施とRYLAです。新世代のための会議は各クラブとも継続事業となっているのが現状です。新世代の若者との意見を交わす場を設けることが本来の趣旨ですが、クラブ単体で新しい事業を始めることは非常に労力がいると思います。各クラブが集まって共同事業でもという意見もありましたが、地域性やクラブの主体性で行っていただきたいという地区の方針があり実現していません。メンバーの減少も含め地区としてもある程度拘束は外す時期にきているように個人的に思います。

RYLAに関しては、福井北RC出身の委員長という事もあり、昨年から3年間福井で実施することが決まっています。福井らしいRYLAという事で、永平寺や恐竜博物館見学も含め、他県にアピール出来るいい機会なので頑張りたいと思います。福井県からの出向者の方が、すべてパスト会長という事もあり、委員会では会計の大任を3年間させられることになりました。

ニコニコ箱 …… 17,000円　　累計 1,205,600円

例会変更情報／福井県内ビジター受付（6月1日～6月14日）

6月　1日 福井北RC　　12:00～12:30 ザ・グランユアーズフクイ正面玄関

＊変更の無い各クラブの定例例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日(5月31日)の例会	6月7日	6月14日	6月21日
RYLA報告 RYLA受講者 伊吹奈緒氏	第一例会行事 会員卓話 渡辺佳男会員	ゲスト卓話	最終例会